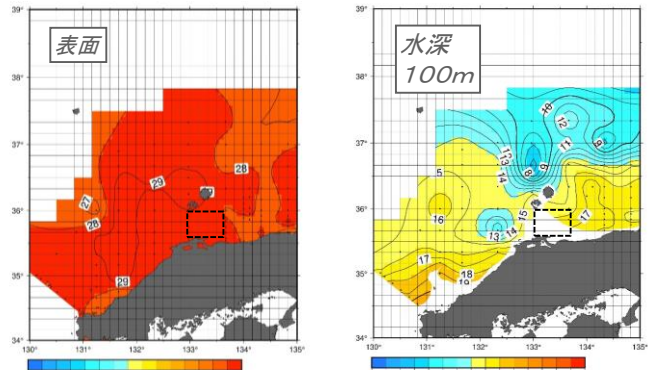
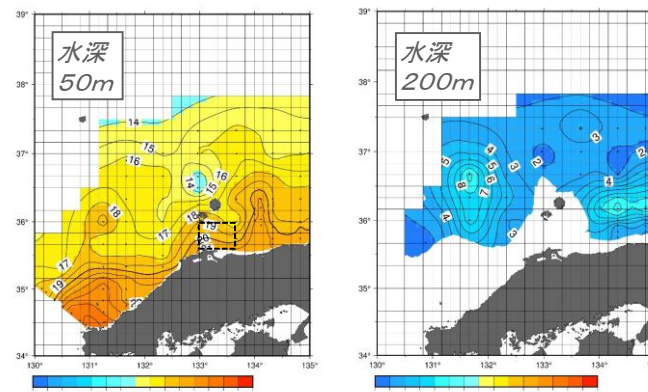




暖岐海峡と鳥取県沖(点線範囲内)の
平均水温は28.6℃を示しています。
【前年差: +1.14℃、平年(直近30年)差: +2.32℃】

平均水温は15.9℃を示しています。
【前年差: -1.17℃、平年(直近30年)差: -0.28℃】



平均水温は19.6℃を示しています。
【前年差: -2.68℃、平年(直近30年)差: -0.68℃】

水深200mの水温は前年並でした。

水産試験場

R7年度マアジ・クロマグロ報告会

8/7(木)県営境港水産物地方卸売市場において、境港地区の水産関係者を対象に以下のとおり、今季のクロマグロの水揚げ状況及び市場調査結果やマアジ新規加入量調査(幼魚調査)の結果を報告する会議を開催しました。



〇クロマグロの水揚げの特徴等について

- ・TAC枠の増加に伴い、水揚げ量は前年から60トン増加し、1,131トンとなった。
- ・単価は1,538円/kgと過去20年間で4番目に高い水準となった。
- ・3歳以上の各年級群(ある年に生まれた魚の集団)が満遍なく漁獲された。
- ・来季の水揚げ量は資源の回復を受け、引き続き漁獲上限まで漁獲できる見通し。



図1 市場での調査の様子

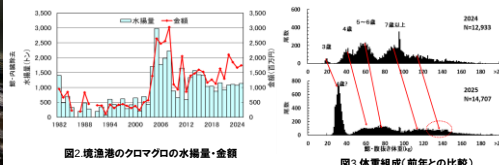


図2 横濱港のクロマグロの水揚げ・金額

図3 体重組成(前年との比較)

〇マアジ0歳魚の分布状況と今秋の漁模様

- ・本年5～6月のマアジ幼魚調査における、鳥取県沖での採集個体数は前年からやや増加した。海域別では対馬や島根海域の採集が多い傾向となった。
- ・マアジ幼魚の2025年の加入量指標値(発生量の多さ)は23年間の調査の中で下から8番目の値となった。指標値は2018年以降、増減を繰り返しながら概ね横ばいで推移している。今秋のマアジの漁獲量は前年並みに推移する見通し。



図4 調査で採集されたマアジ幼魚

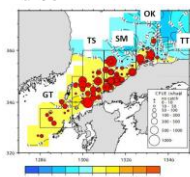


図5 2025年調査におけるマアジ幼魚の採集量(赤い丸の大きさは採集量を示す)

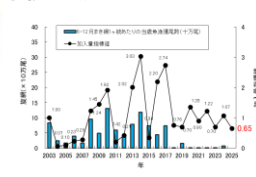


図6 マアジ0歳魚の加入量指標値(2025年)6-12月まで1ヶ月あたりの0歳魚漁獲量(十万尾)

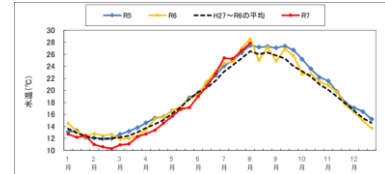
令和7年4月から下記2社の広告を1年間掲載することになりました。

鳥取沿岸の水温



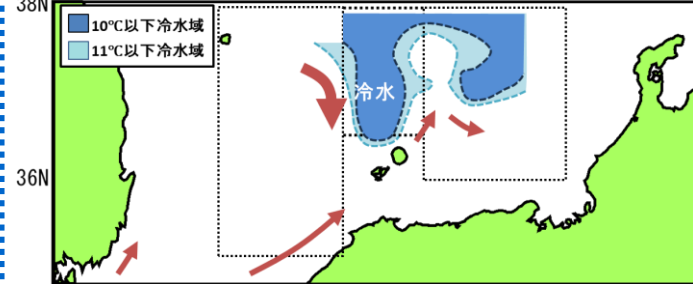
鳥取県栽培漁業センター 沈砂槽
(電話:0858-34-3321)

8月上旬 27.9℃
平年より 1.4℃高め



8月上旬の水塊配置と対馬暖流

鳥根沖冷水 暖岐諸島北方 山陰・若狭沖冷水



鳥根沖冷水域	鳥根県沖冷水は暖岐諸島北方のN37°10'以北に認められました。
暖岐諸島北方の冷水域	暖岐諸島北方のN36°20'以北に認められました。
山陰・若狭沖冷水域	鳥取県、兵庫県沖N36°50'以北に認められました。
対馬暖流の流路	主流は朝鮮半島南東部の沿岸に沿って北方に向かい流れると考えられます。主流の一部は、鳥根県沖や鳥根沖冷水と暖岐諸島北方冷水に沿い流れると考えられます。

水産振興課・漁業調整課

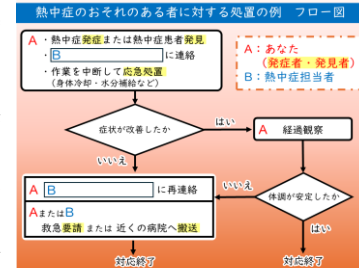
漁労作業中の熱中症にご注意ください!

県内では、8月以降も気温35℃を超える猛暑日が続いています。漁労作業中の熱中症には十分ご注意ください。

労働安全衛生規則(昭和47年労働省令第32号)が一部改正され、労働者を雇用する全ての事業者に対して、熱中症のおそれがある労働者を早期に見つけ、その状況に応じ、迅速かつ適切に対処することが可能となるよう、「**体制整備**」、「**手順作成**」、「**関係者への周知**」を令和7年6月1日から義務付けられました。熱中症による死傷災害を防ぐため、これらの対策を適切にとられるよう、お願いします。詳しくは、厚生労働省のホームページをご覧ください。

また、熱中症のおそれのある時の対処については、水産庁が右のフロー図を作成していますので、ぜひご活用ください。

※フロー図例



熱中症のおそれがある時の連絡体制

① 熱中症担当者

担当者:

TEL:

② 船主・近隣病院

船主救急要請 陸上救急要請

TEL: 119

近隣の病院:

住所:

TEL:

AまたはBに連絡がつかない時は、応急処置や陸上・海上救急要請を優先し、事後にBへ連絡すること。

【厚生労働省HP】
<https://neccyusho.mhlw.go.jp>



フロー図のダウンロードはこちらから→
<https://www.jfa.maff.go.jp/kikaku/anzen.html#netyuusyoyou>

栽培漁業センター



令和7年度キジハタ放流計画

- キジハタは温暖性で、30cm以上の大型活魚は高値で取引されるため、温暖化時代の有望栽培魚種として、種苗の試験放流を平成20年に開始し、平成28年から事業放流を実施しています。
- 令和7年度鳥取県キジハタ栽培漁業推進協議会で(5月16日開催)、今期も2万尾の種苗を放流することが決定されました。
- 8/18現在、種苗は体長約3cmまで成長しており、5cmまで育てた後、下表の各地先において9月下旬から10月上旬に放流する予定です。

県全体	西部				中部			東部
	計	淀江	御来屋	中山	赤碕	泊	夏泊	酒津
	20,000	2,300	2,300	2,300	5,000	500	400	4,000



8/18現在、種苗は約3cmまで成長



5cmの種苗を放流(9月下旬以降)



3～4年後に30cmに成長

西日本ニチモウ株式会社

本社 山口県下関市小月小島2丁目3-17 〒750-1136
電話 083-282-4041(代表) FAX 083-282-0424
境港営業所 鳥取県境港市栄町92番地1 〒684-0006 電話 0859-44-0475 FAX 0859-42-6330

潮に夢を

共和水産株式会社

代表取締役 橋津 寛



〒684-0006 鳥取県境港市栄町65番地
TEL:0859-44-7171(代) FAX 0859-42-6530